

分科会発表

2024年度 第30回 固定チームナースング全国研究集会 発表演題一覧

第1会場 3F 日経ホール 口頭発表

座長 名古屋市立大学病院 伊藤 加代子
 JA愛知厚生連 江南厚生病院 脇 牧
 IMSグループ 板橋中央総合病院 須藤 歩

第I群-1 【人材育成】 13:30~14:25

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
I-1-1	退院支援を理解し責任を持って実践できる 受け持ち看護師の育成	春日井市民病院 長島 香織	P17
I-1-2	ケースカンファレンスを活用した 患者中心の看護実践ができる受け持ち看護師の育成	JA愛知厚生連 渥美病院 増山 多輝子	P21
I-1-3	急性期から多職種チームとともに支えた エンドオブライフ・ケア ～患者・家族の思いを引き出し、多職種チームの リーダー役割を担える看護師の育成～	JCHO 大阪病院 森本 結美	P25
I-1-4	退院支援に向けた日々リーダーへの役割行動の教育 ～退院支援行動指標を示した 日々リーダー業務チェックリストを活用して～	飯田市立病院 大平 和美	P29
I-1-5	チーム活動を支援できる主任看護師の育成	自治医科大学附属病院 加藤 佳瑞子	P33

第I群-2 【師長のかかわり】 14:35~15:20

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
I-2-1	固定チームナースング研究会活性への取り組み ～看護師長・副看護師長研修実施から得た学び～	中国四国固定チーム ナースング研究会 (JCHO 徳山中央病院) 小阪 マリ子	P37
I-2-2	看護部目標達成に向けた師長小集団活動 ～看護師長の管理能力向上を目指して～	JA 鹿児島厚生連病院 原田 昌子	P41
I-2-3	チームリーダーを育てるための師長の役割の振り返りと 指導体制の再構築	公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 車塚 美貴	P45
I-2-4	看護師長がチームリーダーを育成するための教育計画 ～Off-JTとOJTの連動～	済生会広島病院 金岡 宏美	P49

第2会場 4F ホワイエ 示説発表

座長 IMSグループ クローバーのさと イムスケア カウピリ板橋 皆川 由美子
IMSグループ イムス記念病院 藤田 正恵
JA長野厚生連 北信総合病院 荒井 美奈子

第II群 【ポスター発表】 13:30~14:20

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
II-1	せん妄遷延予防に向けた個別的看護支援の実践 ～患者の生活歴や嗜好を取り入れた取り組み～	飯田市立病院 片桐 あつ希	P53
II-2	看護師の日々の語らいを看護に活かす 情報の共有について	JA 愛知厚生連 稲沢厚生病院 平子 梢	P57
II-3	知ってるつもり 出来てるつもり ～基礎の基礎からやってみた～	IMS グループ 北小田原病院 祖 林茂	P61
II-4	患者が安全・安心な治療を受けるための 化学療法パンフレットを用いた オリエンテーションの統一	関西医科大学附属病院 齋藤 香織	P65

第II群 【ポスター発表】 14:30~15:10

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
II-5	多職種と目標を共有しリハビリテーションを提供する 取り組みの一例	関西医科大学附属病院 矢野 愛実	P69
II-6	患者中心の看護を実践できる受け持ち看護師の育成 ～リフレクションシートを新人看護師に活用して～	JCHO 神戸中央病院 喜多 由賀里	P73
II-7	高齢難聴者のケア場面における 音声コミュニケーション支援の取り組み ～教育担当師長の立場から看護部目標に沿った 患者支援のアプローチ～	JA 鹿児島厚生連病院 西田 伊豆美	P77

第3会場 6F カンファレンスルーム A 口頭発表

座 長 中国四国固定チームナーシング研究会 山本 喜志恵
 I M S グループ 横浜旭中央総合病院 大上野 佐江子
 I M S グループ本部事務局 吉岡 利康

第Ⅲ群-1 【導入・再導入①】 13：30～14：25

演題No.	演題名	施設名／発表者	頁
Ⅲ-1-1	固定チームナーシング再導入 ～外来で受持ち看護師を配置して～	IMS グループ イムス記念病院 香田 紀久子	P81
Ⅲ-1-2	固定チームナーシング導入に向けて ～利用者のニーズに合わせた質の高い介護を 継続的に提供するために～	IMS グループ 丸森ロイヤルケアセンター 山家 里美	P85
Ⅲ-1-3	固定チームナーシングの再構築 ～退院支援が必要な患者に継続性のある看護を～	JCHO 大阪みなと 中央病院 中筋 葉子	P89
Ⅲ-1-4	固定チームナーシング新規導入による 部署運営の基盤づくり ～看護職員数が少ない医療施設での実践報告～	医療法人社団星風会 井上病院・井上クリニック 山口 聖子	P93
Ⅲ-1-5	がん患者の意思決定支援を支える看護チームの育成 ～固定チームナーシングの再導入～	長崎県島原病院 廣瀬 えり奈	P97

第Ⅲ群-2 【小児・母性】 14：35～15：20

演題No.	演題名	施設名／発表者	頁
Ⅲ-2-1	尿道下裂の患児と家族が安全・安楽に周術期を 送るための取り組み ～術後のイメージ獲得のための支援～	自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 岩崎 美穂	P101
Ⅲ-2-2	長期入院中の妊婦が胎児を実感できるための支援 ～イメージリーによる効果～	自治医科大学附属病院 菊池 美紀	P105
Ⅲ-2-3	小児病床でのルートトラブル減少へ向けての 小集団活動	IMS グループ 板橋中央総合病院 青砥 倫子	P109
Ⅲ-2-4	プレパレーションを取り入れ、子どもの潜在能力を 引き出した採血方法の取り組み	JCHO 徳山中央病院 中村 有紗	P113

第4会場 6F カンファレンスルーム BC 口頭発表

座 長 金沢医科大学病院 大河 正美

関西医科大学附属病院 関医訪問看護ステーション・枚方 永田 多恵子

IMSグループ クローバーのさと イムスホーム カウピリ板橋 猪股 恵子

第IV群-1 【導入・再導入②】 13:30~14:25

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
IV-1-1	固定チームナーシングの再構築 ～ケースカンファレンスの活性化に取り組んで～	JA 愛知厚生連 江南厚生病院 坂元 薫	P117
IV-1-2	固定チームナーシング再導入 ～チームワークシートを活用した日々リーダー育成～	IMS グループ イムス記念病院 高橋 香世	P121
IV-1-3	固定チームナーシング再導入に向けて ～ユニットケアとの相違点を整理し 個別ケアの継続を充実～	IMS グループ 仙台青葉ロイヤル ケアセンター 荒木 義直	P125
IV-1-4	スタッフの少ない訪問看護ステーションにおける 固定チームナーシング導入 ～どんなふうに取り組むか ACP における意思決定支援～	IMS グループ 山形ロイヤル訪問看護 ステーション 清野 将之	P129
IV-1-5	病棟の診療科再編における 固定チームナーシングの体制整備	春日井市民病院 大口 真由	P133

第IV群-2 【身体拘束の最小化】 14:35~15:20

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
IV-2-1	ICU におけるせん妄患者の自己抜去ゼロに向けた 取り組み	金沢医科大学病院 西出 智美	P137
IV-2-2	患者の「今」と向き合って ～現状維持に満足しない～	IMS グループ 北小田原病院 高江洲 瑞葵	P141
IV-2-3	救命救急病棟における身体拘束低減に向けた 取り組みの成果	JA 愛知厚生連 江南厚生病院 長屋 詩織	P145
IV-2-4	身体抑制 0 を目指したチーム活動の取り組み	金沢医科大学病院 疋田 実香	P149

第5会場 6F セミナールーム1 口頭発表

座長 JA長野厚生連 南長野医療センター篠ノ井総合病院 青木 涼子
 みやぎ県南中核病院 安部 桂子
 IMSグループ 鶴川サナトリウム病院 浦島 さくら

第V群-1 【役割と業務】 13:30~14:25

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
V-1-1	看護部理念に基づいた看護提供を目指す	IMSグループ イムス明理会仙台 総合病院 佐藤 麻衣子	P153
V-1-2	施設における看護チームの役割を見直す ～入居者に寄り添うケアを行うために～	IMSグループ 特別養護老人ホーム おさなぎ 菅原 由依子	P157
V-1-3	切れ目ない継続看護の実践 ～周術期チームの応援機能再構築～	IMSグループ イムス記念病院 星野 由梨	P161
V-1-4	化学療法患者の受持看護師としての関わり ～患者の希望を叶えるために～	JA 長野厚生連 長野松代総合病院 小林 奈津美	P165
V-1-5	受け持ち看護師の役割を發揮した、在宅療養支援への 取り組み	医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 山本 千香子	P169

第V群-2 【ケアの質】 14:35~15:20

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
V-2-1	せん妄リスクのある患者のケア向上に向けた関わり ～CAMによる評価の統一と意識の向上を目指して～	長崎県島原病院 島田 健市	P173
V-2-2	急性期一般病棟における 新規褥瘡発生ゼロに向けた取り組み ～皮膚ケア・栄養評価を通して～	島根県済生会 江津総合病院 金山 麻衣	P177
V-2-3	PPI (がん患者の予後予測スケール) の定着化に 向けた取り組み ～個別性のある看取り支援を目指して～	総合病院岡山協立病院 楽前 奈美	P181
V-2-4	QOLを維持するための継続したケアの提供 ～利用者個々のニーズに合わせた小集団活動の取り組み ～	IMSグループ 仙台ロイヤルケアセンター 皆川 和香	P185

第6会場 6F セミナールーム2 口頭発表

座長 J A長野厚生連 長野松代総合病院附属若穂病院 北澤 佐智子
 J A長野厚生連 長野松代総合病院 大日方 美貴子
 羊蹄グリーン病院 押野 郁治

第VI群-1 【患者指導・リハビリ】 13:30~14:25

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
VI-1-1	リツキシマブを投与した患者の副作用への指導 ～インフュージョンリアクションに着目した取り組み～	飯田市立病院 小木曾 佑輔	P189
VI-1-2	患者のADL維持・向上に向けた週末リハビリの取り組み	独立行政法人国立病院 機構 四国がんセンター 村上 利奈	P193
VI-1-3	退院後の水分管理を想定した心不全指導の考察	公益財団法人宮城厚生 協会 坂総合病院 菅野 彩子	P197
VI-1-4	I度高血圧以上対象者への健康行動改善にむけた 生活指導 ～今後の指導体制の構築に向けて～	金沢医科大学病院 宇納 由樹	P201
VI-1-5	クリティカルケア領域における 早期リハビリテーション介入の体系化 ～統一化したプロトコルの作成と実用化～	関西医科大学附属病院 瀨本 綾	P205

第VI群-2 【職場環境】 14:35~15:20

演題No.	演題名	施設名/発表者	頁
VI-2-1	働きやすい環境作りや質の高い看護を提供するために 働きかけたこと	北見赤十字病院 菅原 茜	P209
VI-2-2	固定チームナーシング再導入の機能を見直し ～生活レベルを上げるために～	IMS グループ 西仙台病院 中川 晴貴	P213
VI-2-3	地震災害対応の強化と見直し	津山中央病院 菅原 拓矢	P217
VI-2-4	手術室における小集団活動のための体制整備 ～勤務時間内に小集団活動を行うために～	市立宇和島病院 宮本 多恵子	P221